

令和5年度 3学年理数科 倫理 シラバス

1. 教科科目使用教教材

教科	地歴公民科	科目	倫理	単位	2	学年	3 学年	学科	理数	教科書『改訂版倫理』（数研出版） 副教材『最新図説 倫理』（浜島書店）
----	-------	----	----	----	---	----	------	----	----	--

2. 学習目標及び評価ポイント

学習の到達目標等	評価のポイント
<p>○青年期における自己形成の課題について、理解と思索を深めさせ、人間としてのあり方生き方について考えさせる。</p> <p>○先哲の思想を知識として学ぶのではなく、人間の存在や価値について思索を深め、人生観・世界観ないし価値観を形成し、自らの人格の形成に努める実践的態度を育てる。</p> <p>○生徒自らの個性を発揮させ、伸ばさせると共に、平和で民主的な社会の実現に寄与する態度を育てる。</p> <p>○生徒の当面する課題などを中心にしながら、先哲の考え方を学び、自らの課題を積極的に解決していく課題解決能力を育成する。</p>	<p>【知識・技能】古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</p> <p>【主体的に学びにむかう態度】国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>

3. 授業の進め方

- (1)プリントを中心に授業を進めます。
- (2)授業内容の理解を深めるため、資料集の該当単元の資料に目を通しましょう。
- (3)章末もしくは節末に小テストを実施する場合があります。

4. 授業計画

月	時間	単元・教材名	学習内容	評価基準・評価方法	進度			
4	5	第1編 現代に生きる自己の課題 1 人間とは何か	<input type="checkbox"/> 倫理学習の意味とガイダンス <input type="checkbox"/> 人間の定義と人間の持つ二面性について考察する。	人間の特質に関する興味関心、および青年期の特徴と課題に対する意識を高め、追求している【関】【知】 ・倫理ノートの確認 ・資料集の活用				
		2 青年期の意義と課題 3 自我の発見と自己形成	<input type="checkbox"/> 青年期の意義と課題を理解する。 <input type="checkbox"/> 青年期特有の課題であるアイデンティティの確立、自己実現の追求について学ぶ。					
		4 パーソナリティの形成と生きがい	<input type="checkbox"/> 先哲の基本的な考え方を手がかりに人間の存在価値について思索を深める。					
5	7	第2編 人間としての自覚 第1章 西洋思想の源流 第1節 古代ギリシアの思想 1 哲学の誕生：神話から哲学へ 2 ソクラテス 3 プラトン 4 アリストテレス 5 ヘレニズム時代の思想	<input type="checkbox"/> ギリシアの思想家のものの見方・考え方を理解することにより、古代ギリシアの思想は、私たちにどのような意味をもつのかを考える。 <input type="checkbox"/> ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想の基本的な内容を理解する。	西洋思想の源流の一つであるギリシア思想が形成された歴史的・社会的背景について理解すると共に、三大哲人それぞれの考え方を資料（原典）から読み取り、比較し考察している【技】 ・資料集の活用 ・テスト返却				
		1 学期中間考査						
		6	7	第2節 キリスト教 1 古代ユダヤ教 2 イエスの教え 3 キリスト教の成立と発展 第3節 イスラーム	<input type="checkbox"/> イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解する。 <input type="checkbox"/> イスラーム教の基本的な思想を学ぶと共に、ユダヤ教やキリスト教との類似点や相違点について考察する。	西洋思想の源流の一つであるキリスト教の成立過程とその後の展開・発展について学ぶと共に、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教について多角的に検討し、現代の課題に結びつけて考察している。【関】 ・資料集の活用		
				1 学期期末考査				
				7	4	第2章 東洋思想の源流 第1節 古代インドの思想と仏教 1 古代インドの社会と思想 2 仏教の思想 3 仏教の展開 第2節 中国の思想 1 孔子と儒家の思想 2 儒教の展開 3 道家の思想	<input type="checkbox"/> 古代インド社会の状況および、バラモン教について理解する。 <input type="checkbox"/> 仏教の思想とその後の仏教の発展・展開について考察する。 <input type="checkbox"/> 儒家、老荘思想を中心に学習し、その後の中国思想の展開についても理解を深める。	東洋思想の源流である仏教と中国思想について、成立過程及び社会的背景について理解すると共に、西洋で成立した一神教との比較を通じて多角的に物事を捉える視点をもって学習に取り組んでいる【関】【思】 ・資料集の活用 ・ノートの確認

9	7	<p>第3編 現代に生きる人間の倫理</p> <p>第1章 西洋近代の思想</p> <p>第1節 理性への信頼と人間の尊厳</p> <p>1 ルネサンス</p> <p>2 宗教改革</p> <p>3 モラリスト</p> <p>第2節 自然・科学技術と人間</p> <p>1 近代科学の誕生</p> <p>2 ベーコンとデカルト</p> <p>第3節 個人・社会と自由</p> <p>1 自然権と社会契約</p> <p>2 カント・・・人格の尊厳</p> <p>3 ヘーゲル・・・人倫</p>	<p><input type="checkbox"/>西洋の近代人が人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考える。</p> <p><input type="checkbox"/>中世との違い、人間観の変化を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>社会や人間の生き方に関する、新しい学問の方法について考察する。</p> <p><input type="checkbox"/>近代ヨーロッパの社会契約論を通して、民主社会の成り立ちを理解する。</p>	<p>中世ヨーロッパと近代ヨーロッパにおける人間観の変化、及びルネサンスと宗教改革という変革の過程と影響について考察している。【関】</p> <p>新しい学問方法の確立による真理の追求について、各思想家の考え方を比較しながら、社会の変化・発展に関連づけて考察している。【思】</p> <p>・資料集の活用</p>
10	7	<p>第4節 民主社会の倫理</p> <p>1 功利主義：幸福について</p> <p>2 実証主義と進化論・・・自然科学の発展と結びついた社会理論</p> <p>3 プラグマティズム：行動する知性と社会改善</p> <p>4 社会主義：人間性の回復を目指す社会革命の思想</p>	<p><input type="checkbox"/>ベンサムとミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>科学的思考方法の特色を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>社会主義の生まれた背景とその発展過程、現代の社会主義について、興味・関心を高める。</p>	<p>近代における産業社会の進展と社会問題の発生について理解する。</p> <p>個人の自由・利益と社会全体の利益の調和を図る思想について理解すると共に、どのような社会を目指すか問題意識を持って追求している。</p> <p>【関】</p> <p>・資料集の活用</p>
2学期中間考査				
11	7	<p>第1節 現代思想の流れ</p> <p>1 現代思想の幕開け</p> <p>2 現代の実存哲学</p> <p>3 人間中心主義の問い直し</p> <p>4 新たな「他者」関係の構築</p> <p>第2節 現代社会と生き方</p> <p>現代社会の分析</p> <p>「人間の尊厳」と「生命への畏敬」</p>	<p><input type="checkbox"/>「人間疎外」の状況や時代背景を把握し、いかにして人間性の回復を図るか、現代思想の課題について考察する。</p> <p><input type="checkbox"/>人間尊重の精神について理解する</p> <p><input type="checkbox"/>主体性を強調した実存主義の思想家達の主張を示し、主体的な生き方について考える。</p>	<p>現代社会の思想的課題である「人間疎外」の状況について理解する。また、その課題に対応する現代思想としての実存主義と、主体的な生き方について考察している。【思】</p> <p>・資料集の活用</p> <p>・ノートの確認</p>
2学期期末考査				
12	7	<p>第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>第1章 日本の伝統思想と東洋思想の受容</p> <p>第1節 日本の風土と古代日本人の考え方</p> <p>第2節 仏教の受容と展開</p> <p>第3節 儒学の受容と国学の発達</p>	<p><input type="checkbox"/>古代の日本人の考え方を風土との関係で捉え、日本人の宗教観や倫理観について考察する。</p> <p><input type="checkbox"/>外来思想を受容によって生じた変化に注目する。鎌倉仏教や江戸時代の学問形成について理解する</p>	<p>日本の風土や古代社会の状況について理解すると共に、日本古来の思想及び外来思想である仏教・儒教について考察している。【関】</p> <p>・資料集の活用</p>
1	5	<p>第2章 西洋思想の受容と近現代の日本の思想</p> <p>第1節 近代の日本の思想</p> <p>第2節 国際社会に生きる日本人</p>	<p><input type="checkbox"/>西洋文化摂取後の思想の形成について学習し、現代にどのような影響を与えているかを考える。</p> <p><input type="checkbox"/>国際社会における役割と責任を果たす自覚を形成する。</p>	<p>明治維新以降の西洋思想の受容と、近代日本社会に与えた影響について考察している。【関】</p> <p>・資料集の活用</p>
2	6	<p>第5編 現代の諸課題と倫理</p> <p>生命倫理、情報化社会、環境問題</p> <p>国際平和と人類の福祉</p>	<p><input type="checkbox"/>新しい倫理問題としての特質や、これらを生み出した現代文明の諸問題について多角的に考察する。</p> <p><input type="checkbox"/>グローバル化した社会での生き方を考え、多面的なものの見方が必要であることを理解する</p>	<p>科学・医学技術の発達と共に新たに生じた課題について、倫理観や価値観の観点から考察している。【関】</p> <p>【思】</p> <p>・資料集の活用</p>

5. 評価の方法：下記の状況と評価の観点に基づいて総合的に判断します。

- (1) 定期考査（1学期～2学期の中間・期末テスト）
- (2) 課題（プリントやノート等の提出物・小テスト）

6. 学習上の留意点

- (1) ニュースやインターネット・書籍などを通して様々な社会の動きに接し、授業で学んだ内容と関連づけて理解するようにしましょう。
- (2) 教科書・資料集を必ず読み込むようにしましょう。